

令和3年度 第2回愛西市地域ケア推進会議 次第

日 時 令和4年2月17日(木)
午後2時～午後3時30分
場 所 愛西市文化会館 第2会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 市内の高齢者を取り巻く地域課題の検討

【地域課題】セルフネグレクトのあるひとり暮らし高齢者の生活支援 ― 別紙

セルフネグレクト：介護・医療サービスの利用を拒否することなどにより、社会から孤立し生活行為や心身の健康維持ができなくなっている状態

(2) その他

愛西市地域ケア推進会議 名簿

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

区分	所属（施設名）	氏名	備考
保健医療関係者	津島保健所	山田 景子	
	七宝病院 認知症疾患医療センター	三和田 篤	
	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター	堀 智宏	
	リハビリテーションネットワーク （愛西ガーデン）	山内 嘉丈	
社会福祉関係者	民生児童委員協議会 会長	横井 三千雄	
	社会福祉協議会	杉浦 笑子	
	高齢福祉課 生活支援コーディネーター	浅野 弥生	
	社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	日高 由紀	
学識経験者	ひらい社会福祉士事務所	平井 正	
	日本福祉大学福祉経営学部 准教授	鷲野 明美	
介護支援専門員	介護支援専門員連絡協議会 （悠々の里居宅介護支援事業所）	山中 誠治	
介護保険サービス事業所	海南病院ヘルパーステーション・たすけっと佐屋	東 元子	
	デイサービスセンター 蓮香	栗畑 由紀夫	
	地域密着型サービス事業者連絡会 （グループホーム ガーデンホーム赤目）	五藤 陽子	
	特別養護老人ホーム 佐織寿敬園	井上 圭子	
事務局	保険福祉部長	小林 徹男	
	保険福祉部参事	松本 繁	
	高齢福祉課長	井戸田 悦孝	
	高齢福祉課 課長補佐 （地域包括支援センター）	山田 光正	
	高齢福祉課 主査 （地域包括支援センター）	城 安代	
	高齢福祉課 主任 （地域包括支援センター）	藤本 貴志	
	保険年金課 主任	山田 文枝	
	社協地域包括支援センター	中野 重利	
	佐屋苑地域包括支援センター	武藤 恵子	
	社協佐織地域包括支援センター	鷲尾 和軌	

市内の高齢者を取り巻く地域課題の検討

1. 課題設定

【地域課題】「セルフネグレクトのあるひとり暮らし高齢者の生活支援」

セルフネグレクト：介護・医療サービスの利用を拒否することなどにより、社会から孤立し生活行為や心身の健康維持ができなくなっている状態

【概要】

- ・71歳男性一人暮らし。要介護1
- ・気性が荒く、人付き合いが苦手である。
- ・身体機能は自立。自転車で毎日移動し買い物や入浴をしている。
- ・認知症の疑いがあり①短期記憶がなく同じことを何度も言う②物盗られ妄想がある③行方不明となり自宅に帰れないことがある④菓子パンや飲料、総菜などを購入したことを忘れ購入し、自宅の居室（20畳程度）は1.5メートルほどの高さのごみにあふれ、自宅の庭まで異臭が漂った状態にある、などが挙げられる。
- ・年金は月額15万円程あるが、菓子パンや飲料を繰り返し購入するためほとんど使い切ってしまう状況にある。通帳を紛失し金融機関に相談することが多々ある。
- ・近所の付き合いはない。
- ・近隣にキーパーソンである実兄、長男がおり、本人の生活の状況を改善したいと考えているが本人との関係が悪く介入できない。
- ・介護認定申請時主治医意見書を作成のため実兄とともに自宅近くの医院を受診したが、これまで大きな病気もないため、かかりつけ医はなく、認知症の診断は受けていない。
- ・実兄、長男から相談を受けた地域包括支援センター社会福祉士とケアマネジャーとで介護保険サービスの導入を試みるも「自身は健康である」「無駄なお金は使いたくない」との理由で本人が拒否し、サービスその他の生活支援が利用できていない。

【本人の主訴】

- ・健康であるため何も支援の必要はないし、お金も必要以上に使いたくない。
- ・自宅内にあるものはごみではないからこのまま置いといてよい。

【親族・支援者が考える問題点】

- ①本人に病気の認識がなく健康であると主張し、介護・医療に結び付いていない。
- ②自宅内が生ごみにあふれており、虫が湧いているなどの状態で生活をしている。
- ③繰り返し食品等を購入するためごみが日に日に増え、生活環境が悪化している。

2. 課題の検討事項

【親族・支援者の立場として解決すべき課題】

- ①認知症の疑いに対する鑑別診断及び治療ができる。
- ②自宅内の生ごみ等の掃除、撤去をし、居住環境の整備と維持することができる。
- ③身体の清潔保持と健康状態を維持することができる。

上記の課題が解決するために必要とされる手段、支援やサービスを①医療②介護③その他生活資源の分野に分けて検討する（現存しないサービス等も含む）。

分 野	課題解決に必要とされる手段、支援、サービスの内容
医 療	
介 護	
そ の 他 生活資源	